



2006 年 4 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078 - 393 - 0050
FAX：078 - 393 - 0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子・八巻 昭郎

～ 3 月例会報告 ～

堀田 美登理 (昭 58 文)

北京王宮料理「東天閣」における 3 月の例会は、オーナー中神先輩 (昭 39 文) の肝煎りにて伊勢海老、鱺、鯉の甘炊き (但し庭の池で泳いでいたはずの錦鯉が行方不明になっていたのが気掛かり・・・) と、まず 1 万 5 千円は下るまいという豪勢な料理を堪能しつつ進行。

五代会長より 5 月の蘇州園における総会にて任期完了、次期会長には広瀬努先輩 (昭 45 商) がご就任との発表がございました。不肖堀田「是非幹事の一員に」と志願するも「幹事行儀見習心得止まりである」と敢なく却下、捲土重来を期した次第。



宴もたけなわ、お久しぶり登場の会員が夫々スピーチを披露、ご自分の存在をアピールされた。

当日は、S 先輩 (昭 49 商) と隣り合わせたのが悲運の始まり。S 氏が数 10 年前、当時現役の灘中学校を家庭教師につけながらにして灘中不合格、名門魚崎中学を経て塾高入学という昔話にテーブルの一同大爆笑。ボルテージは Mt.Everest よりも高く Mariana 海溝よりも深く盛上っていったのであります。お開き後、小判鮫堀田は S 先輩のお供をして久々に神戸外国倶楽部へ。数人の後輩の為注文遊ばされたのは「トロッケンベーレンアウスレーゼ」そのココロは貴腐 (寄付) ワイン。さすが塾に一千万円気前良く出されたと噂の S 先輩。益田純翁の生まれ変わりか？松永耳庵の再来か？男の中の男でございます。惚れなおしました。北野町は甘美なる闇に包まれ、ドンペリニオンを開ける心地良い響きが明鏡止水の静寂を破るのみ。



当日の出席者は 36 名でした。
例会の写真を倶楽部ルームに掲示しています。
プリントご希望の方は事務局にお申し出ください。

寄付について、5 ページ目に説明していますので、ご参照ください。



ちょっと一言

人の世は「カキケコ」を指標とする旅のようなもの・・・ (出典不明)

カ = 感謝・感動・感激 (3K)

キ = 興味

ク = 工夫

ケ = 健康・謙譲

コ = 好奇心・好意

おまけ・・・【コ = 恋心】これが一番でしょう！

山口 慎一郎 (昭 31 法)

シリーズ1 弾
(その1)

『三田の福澤先生と三田の九鬼藩主』(上の巻)

市居 嘉雄 (昭29 経)

関西合同三田会が開催されると、歴代塾長や服部連合三田会長のご挨拶の中で、福澤先生と撰津三田とのつながりについて話をされることがある。そこで、それらの関係について、明治維新前後の三田藩と九鬼藩主の状況から見ていきたい。



福澤諭吉先生

そもそも三田藩主の九鬼家というのは熊野水軍で鳴らした志摩の山で同地の名族である。



九鬼隆義

九鬼嘉隆は関ヶ原の勲功により鳥羽五万五千石の大名となったが、その二人の息子が争つたため、寛永十年に幕府裁定によって隆季が綾部二万石に、また久隆が撰津三田三万六千石に移封され、それぞれ明治維新まで続くことになった。

三田藩十三代最後の藩主九鬼隆義(一八三七〜九一)は天保八年、綾部藩主で名君の誉れ高い九鬼隆都(たかひろ)の三男に生まれ、書道や道徳を熱心に学んだ。安政六年二十二歳の時、三田藩主隆徳が亡くなった折に養子となって跡を継いだ。

三田藩主となった隆義は、英通で卓識があ

り性格は果断に富み、一切の旧式を廃して人材を登用した。最初に儒官白洲退蔵を抜擢して藩政に参与させたことで、西洋の文明を藩内に広める先駆けになったという。

ここで少し白洲退蔵(一八二九〜九二)について触れる。白洲家は元禄時代



白洲退蔵

から歴代儒者役として三田藩主九鬼家に仕えた家柄である。彼は十七歳で大坂の儒者篠崎小竹につき、のち江戸に出て儒学を修めた。父とともに藩校教授となり大小姓役をつとめ、安政七年に藩主九鬼隆義に抜擢され、藩政改革と西洋兵制を献策した。浦賀への米艦来航を偵察し、外国事情の探索にもつとめた。以降の彼の業績については後述する。

幕末当時、兵庫県下には十八藩もあり、小藩が分立している上、天領・旗本領が錯綜して幕府勢力の色濃い地域だったといつてよい。撰津の中で唯一の外様大名三田藩は当初佐幕派を標榜していた。だが時流を見るに敏であった家老白洲退蔵は薩長派公卿らと接触し、藩内を倒幕にまとめるのに成功。江戸に赴いて藩主隆義を懇々と説得し、何とか戊辰戦争前に薩長側につくことができたのである。

一方で、三田藩の進路に大きな影響を与えたのは、慶應義塾の創始者福澤諭吉先生(一八三四

〜一九〇二)と九鬼隆義との出会いである。これは三田町出身で旧開成所(現東京大学の前身)の教授となった川本幸民と福澤先生の交友関係を通じて始まったのであるから、どうしても幸民(一八一〇〜七一)の人物像に触れておかなばならない。

川本家は幸民の四代前から代々藩医として三田藩に仕えていた。幸民(幼名敬蔵のち周民・養徳とも称す)は江戸時代末期の国家激動期に、三田藩きつての秀才を藩主隆国に見込まれて江戸に派遣され、非凡な才能と緒方洪庵ら蘭学者達との人脈にも恵まれて、西洋医学を習得することに成功する。



川本幸民

やがて蘭学者として郷里の藩校や広く大衆に西洋文明を紹介する一方、化学の先駆者として我が国初のマツチの発明・ビール醸造の成功や写真機製造などで名を馳せた人物である。それまで含蜜(せいみ)学と呼ばれていた学問を「化学」という言葉に訳したのも幸民であった。

今年一月と三月の十数日間、キリンビール神戸工場において、川本幸民のビールが復元・試飲されて話題となったのは記憶に新しい。

(つづく)

会員だより

「若き血」～屋久島原生林によみがえる～

田嶋 紀雄（昭38工）

関西婦人三田会のお誘いを受け、3泊4日の種子島、屋久島旅行にKLA会員10名と男性2名（井上光さんと私）で行ってきました。参加者の半数は初対面でしたが、初日の種子島の昼食の時から名前と顔が一致するようになり、塾の女性特有の気配りと優しさで、打ち解けた旅をすることが出来ました。

初日は種子島鉄砲会館や千座の岩屋、ロケットセンターなどを見学の後ホテルへ、静かな一日でした。2日目は風が強く高速艇が荒波の上を屋久島まで運んでくれましたが何名かは船酔いでグロッキー。しかし屋久島のバスガイドさんの名案内で気分回復し、屋久杉自然館、ボタニックガーデンや雪の残る屋久杉ランド紀元杉などを見学。ガイドさんの名文句を少し紹介しますと、「パパイヤには雄の木と雌の木があるが、雄の木がなくても雌の木だけで実が成るとか。雄の木は念のために生きているだけで、花が咲き雌雄の判別が出来れば雄の木は邪魔になるので伐採される。だからパパイヤと言う。」「色々な酒飲みがいるが究極は笑い上戸と泣き上戸に分類され、笑い上戸はハッハッで64、泣き上戸はシクシク36、合わせて100。だから酒を百薬の長と言う。」などなど。こんな調子でした。「国民の酒焼酎」の歌の披露や名文句を聞きながら、モッチョム岳の借景が素晴らしい岩崎ホテルへ。硫黄泉の温泉で体を癒した後、楽しい夕食。その後、女性軍が我が男性（軍）の部屋に押しかけ酒盛り。すっかり打ち解けて、常に笑いこけていたが何を話していたのか今となっては記憶に残っていない。第3日、船酔いした3人の女性陣が早朝5時に出発で縄文杉までの7時間トレッキングコースに挑戦。雪の残った難コースを撃破したとか、ますます元気で戻ってきた。残りの9名は早歩き組とゆっくり歩き組に分かれて9時ごろ出発の比較的緩やかな白谷雲水峡トレッキングコースに（参加者の年齢では挑戦に値するかも）出発。日頃の精進がよかったのか、前日の雪が舞うような気が嘘のような雲ひとつない晴天。厚着の装備も不必要で汗ばむまでの好天気恵まれ

ました。私も撮影目的でこのコースに参加しました。早足組は弥生杉まで足を延ばしましたが、ゆっくり組はガイドさんの案内で二代杉、三本足杉、奉行杉、七本杉など原生林コースをもののけ姫の森までのトレッキング。ここでの主役は井上さんで体重オーバーの体を運ぶのに一苦労。自らのついた杖に足を絡ませて転倒して頭をうったり、苔むす岩に足を滑らせて川にドボンとはまったり。周りをヒヤヒヤさせてくれましたが、悪戦苦闘しながらも何とか完歩。めでたしめでたしでした。お蔭様で私はあちこち歩き回って写真撮影が出来ました。奇しくも3組ともホテルに戻ったのが夜の6時過ぎと同じ時間でした。3日目の夜は女性軍が酒とつまみを用意してくれ、全員私達の部屋に集まり夜中まで酒盛り。「国民の酒焼酎は安くて回りが速い」の歌の文句そのままに、酔うほどにモテモテなのかイビラレタのか分からない状態で明くる日は二日酔いでした。4日目は帰宅の日でしたが昨日の好天気が一転して暴風雨。屋久島は雨が多いとは言うもののこのような風雨は珍しいとか。一步も外に出られず、飛行機が飛ぶかどうか心配しながらチェックアウトしてホテルで昼食。そうしている内に雨もやみ千尋の滝、竜神の滝を見学する頃には日も差し、土産物屋で買い物をして飛行場へ。1時間ほど遅れの飛行機に乗って乱気流の中をゆらゆら揺れながら鹿児島経由で無事伊丹へ到着。本当に楽しい仲間であの機会を期待しながら各自家路につきました。ここに掲載したお弁当のひと時の写真は表題のようなタイトル「若き血」～屋久島原生林によみがえる～をつけて150周年「オール慶應写真展」に応募しました。選考をパスすれば10月19日から銀座松坂屋で展示されます。ご期待下さい。



同好会だより

KKJC

塾出身の金髪の美人歌姫を発見！

垣屋 高文（昭 39 経）

平成 6 年法学部法律学科卒の藤村麻紀さんです。3 月 22 日北新地のライブハウス Jazzy Jam3F に出演すると言うので、KKJC 世話人の近藤正君達と聴きに行ってきました。

声はハスキー、しかも女っぷりのいい歌唱で聴く者を惹きつけます。特にバラードの訴え力は抜群、素晴らしいシンガーです。また英語の発音は完璧。日本のジャズ歌手の最初にぶつかる壁は英語だそうで、本人はちゃんと発音してるつもりでも、アメリカ人には判らないと言う話はよく聞きます。



彼女は東京生まれの東京育ち、法学部に入った頃は検事を目指していたようで、2 年の時慶應の交換留学でスタンフォード大へ。宿題が半端でなく、24 時間オープンしている学校の図書館でがんばったそうです。ところが、ある

日カルフォルニアの教会でゴスペルを聞いて、歌の世界への洗礼を受け、方向転換したそうです。卒業後就職先の関係で関西に移住、関西弁がペラペラになるよう努力したそうです。ジャズを歌いだして 7 年、関西、東京のライブハウスを中心に出演、関西ではボーカルを教えています。彼女のライブで、歌の合間に突然私の方を向いて「恋してますか？恋しないとだめですよ。愛人はだめだけど」と言うのではないですか。大人の女性の一面も見せてくれました。

皆さん、藤村麻紀の歌を聴きに行きましょう。

鍋島先輩の満 80 歳を祝うライブ



4 月 1 日（土）宝塚の画廊で昼下がりのアットホームなコンサートが行われました。ジャズ好きの仲間が約 30 名ほど集まり、プロのミュージシャンの演奏を楽しみました。その後、締めは我ら KKJC のア

イドル團 裕子さんも交えて“オール慶應”のクワルテット、他所ではめったに見られない鍋島先輩のピアノがまた最高でした。

ジャズのお好きな方はご一報ください

世話人：近藤 正（昭 39 商）

イーゼル会

今月の絵



前田 茂登子

マジック同好会

今月は休会します。

例会は原則として第 2 金曜日の偶数月に開催を予定しています。

世話人：塚本 明久（平 9 総）

囲碁同好会

4 月 7 日（金）例会 倶楽部ルーム

世話人：林 邦一（昭 41 経）

PC 同好会

迷惑メール その後

八巻 晤郎（昭 40 経）

迷惑メールがいっこうに減らない。撃退法として BRB2 月号で田嶋さんがレポートされたプロバイダーの撃退サービスを使っているがそれを上回る数量で攻撃してくる。というのは送信者や送信アドレスを小刻みに替えてくるのでそれらを撃退サービスに登録しても別の送信者や送信アドレスから送信

して来るという仕組みになっている。どうやらこの手の輩は送信者や送信アドレスを次々と変更しては入手した宛先にメールを送りつけるシステムをコンピューターにインプットして自動的に流し続けているらしい。件名が「まさら美人名鑑」「美人妻極秘モニター」などはいかにもそれらしく即削除となるが「今からホテル行きませんか？」なんて軽いのはひょいとメールを開けてしまう。すると「サチ21才です。よかったらメール下さい。」などとあり、“しまった！削除、削除”と焦ると(焦る理由なんて何にもないのに)すぐ下に《拒否》メールアドレスが表示されている。そのアドレスを押してしまうとややこしいことになる。(と思われるが不詳。)

小生の場合慶應オンラインに登録したメールアドレスが標的となっており、今年になってから増え始め1日当たり6~7通入ってくる。それに「ウイルス駆除しました」メールが2・3通。あまりに長引くので登録アドレスの変更を考えているが「学校関係等のメール管理センターのセキュリティは意外に甘く変更してもまたアドレスを盗られて攻撃されるぞ」と脅す友人もいる。もし慶應オンラインからアドレスが流出していれば会員の中にも同様の迷惑メールを受け取っている方がかなりおられるはず。みなさんいかがですか？

会員の輪

陶の郷での陶芸体験

石崎 雄三(平9経)

先日、家族3人で丹波篠山の陶の郷に行き、立杭焼きの体験をしてきました。我が家のある西宮より中国自動車道、舞鶴自動車道を経由し三田西インターでおり、そこから約15分、計約1時間のドライブでした。三田西インターまではゴルフで通いなれた道ではありますが家族で今まで行ったことはなく、普段とは何か勝手が違うように思われました。今3歳で来月より幼稚園に入る娘に何か思い出に残るような体験をさせようと今回思い立ち行ったわけで、私が陶芸に造詣があるわけでもなく、また彼女に芸術の才能があると思っただけでもありません。(私の血をひいているのであれ



ば当然のことではありますが)・ちなみに陶芸体験は1人1個の製作で¥800-、2ヵ月後焼きあがったものを送っていただくのに¥1,000-、家族3人で合計¥3,400-でした。私は平皿(のようなもの)妻は花瓶を作りました。娘といえば、本人曰く「スープ皿」とのこと。娘の作った器は所々隙間が空いており、しかも中にはスープの具まで粘土で作って入っていました。本人はその作品の出来に満更でもないような顔、私と妻は「これって何に使えるのだろう」と呆れ顔。向こうの係りの方に娘の作品を指し「これって何に見えますか」と聞いてみると「大きな思い出になるように見えますね」と言われました。なるほど良いこと言うなと感心しつつ2ヵ月後送られてきたものをはたして自分が作ったものと娘が認めることができるのか？と考えながら1時間半の粘土との格闘を終えました。1時間¥800-で下手は下手なりに結構陶芸を堪能できました。(同時に、自分の才能のなさも再認識できました)2ヵ月後、作品が送られてくるのが楽しみであるとともに、どのような形になっているのか不安でもあります。

このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。どしどし投稿してください。(編集部)

『2008年慶應義塾は創立150年を迎えます。』

<http://www.keio.ac.jp/>

寄付金の取り扱いについて

ご存知のように、 理事長 徳丸 公義 創立150周年記念事業の一環として、 います。当倶楽部における募金の取り扱いですが以下のようにお願いいたします。皆様方のご事情の許す範囲でご協力くださいますよう宜しくお願いします。

<申し込み方法>

(1)個人からの寄付の場合

皆様の自宅に送られた「払込取扱票」(銀行・郵便局で払い込み可能)をご利用の上、各自お振込みください。その際に、通信欄に「神戸慶應倶楽部」とご記入ください。

これによりまして塾の中では神戸慶應倶楽部経由の寄付金として取り扱われます。

なお、寄付された方の名前と金額が「三田評論」へ記載されますが、個人名の公表を希望されない場合には、「公表不可」と通信欄にご記入ください。また、既に寄付をしていただいた方で当該金額を神戸慶應倶楽部の取り扱いにすることを許諾していただける方は当倶楽部の事務局へ申し出ていただきますと義塾からの確認の連絡を経た後に神戸慶應倶楽部経由の寄付金として取り扱うことができます。

現金振込み以外に、慶應義塾創立 150 周年記念事業 Web サイトからインターネットによる募金もご利用いただけます。

(2) 法人からの寄付の場合

慶應義塾創立 150 周年記念事業室へ連絡していただきますと法人用申込書一式が送付されます。なお、事務手続きの都合上、法人の決算期の 1 ヶ月前にはご連絡していただく必要があります。

~~事務局よりお願い~~

4 月は年会費の振込月です。早めのお振込をお願いします。

自動引落しの会員様は 4 月 27 日(木)に会費の引落しがございますので、口座及び残高の確認をお願いします。

例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、**事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。**

住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、その都度必ず事務局にお知らせください。

~~4 月例会のお知らせ~~

4 月 21 日(金) 18:30 より倶楽部ルームにて開催
(会費: 2,000 円)

当日例会開始前 17 時より役員会を行いますので、評議員及び幹事の方はお集まり下さい。

~~今後の行事予定~~

2006 年度総会 5 月 25 日(木) 蘇州園

詳細につきましては、次号の BRB・メールマガジン等でお知らせしますのでご確認ください。



どしどし原稿をお寄せください。
「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp
八巻 昭郎 yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp

編集後記

○ 去年の今頃は塾高の甲子園で盛り上がり過ぎていましたね。楽しむこと多すぎて時間が足りません。「けいおうは若き血騒ぐカキクケコ・変ですか?」 (ほ)

○ 四月、ワンセグ放送の開始でケータイの TV 受信が可能になる。通信手段の発達は喜ぶべきことなのだろうが、情報が瞬時に世界を駆けめぐり国々が反応し社会が影響を受けるといのは人類にとって本当に幸せなことといえるのだろうか?

そんなに急いでどうするの? 情緒も風情もない暮らしたなんて! 散りゆく桜に問いかけられてるようです。 (晤)